医者の議員もかえてき

へんた

思えばこれまで 医者として数十年

努力と

精進を

重ねてまいりました

なりません まったく モノに

> S)患者さんから樹立し 縮性側索硬化症(A

これらの研究は、加藤

動ニューロンの表現型に

学生として慶應義塾大学

ま

施された。

池田君の

査員により最終審査が

生が受賞する快挙となり

当研究グループ所属の

に所属し進めたもので

Pulmonary Arteria

and

「Difference

sin 演題

Venous Volumes Between

·PS細胞由来脊髄運

寄与する遺伝的背景を同

(5)

いたしましたイシバス

稲城市立病院副病院長。近著『整形外科教室』 (中外医学社)を出版

だから

立候神か

polygenic risk scoreを用 定する手法として

た計算手法を提案しま

学会学生・研修医演題 あります。また日本神経

(生理学教室

岡野栄之 森本悟

受 (放診66回) が中心 Scans」は、陣崎雅弘

弘教

に小さくなり、

科婦人科研究の発展・向

CT

あたび

候

学の発展に寄

奨励賞を受賞

た。奨励賞 超音波医

次元形態を推定可能であ

集会におい

波医学会学術

診断装置と異なり音響素

で、従来の超音波

里

純君(6年)

Sの脊髄運動ニュー

牟婁病

K

変性疾患である

小笠原淳君

配置することで胎児の3

メディカルスタッフ演題第42回日本神経治療学会

本神経治療学会学術集会

子を妊娠腹部前面に疎に

与するにたる

請の関係から発表できな

最優秀口演賞を受賞

社

つ未臨床段階で、特許申

学生·研修医演題第66回日本神経学会学術大会最優秀演題賞

会学術大会の学生・研修

された第66回日本神経学

ム・プロテオ ンスクリブ 脳におけるトラ C) 患者さんの

年5月24日に大阪で開催

う演題で最

回 日本神経学会学術

る研究者を表

会的意義や実用性にお

医学部6年生(1

彰するもの

臨床医の賛同を得られた

(審査員をはじめ多くの

す) 君が、

の加藤玖里純(くり

2024年11

| 会学術集会のメディカル

演題で最優秀口演賞を受 ク質恒常性破綻」

前者の研究では、筋萎

ていることを明らか

会(小林博也君

回) に続き、

3年連続で

レゼンを行い、6人の 題に絞られ、学会中に

の審

一般演題の中から一次家賞は今年から新設され、

次審

二次審査

で 6

月8日に幕張で開催され

とミトコンドリアタンパ

伴ってヒー

ョックタンパク

るSSBP1-HSF1 axis異常

パク質SSBP

の発現低下に

ドリア局在タン

ミトコン

LS/PDC患者におけ

義

た。ドライア

チアワ

ド」を受賞し

breakup time and diagnose dry eye

アイの研究助成やドライ | な所見である涙液層破壊

根岸一乃

眼67回

|が主催する各種のセミナ | するとともに精力的に学

の活躍を期待したい

回の表彰を踏まえて益々

先生方

のご支援の賜物と

考えております。

頭痛医療の発展と共に教

Starzl博士らが

は日本のドライ

少で、

disease」というタイ

が受賞している。 の園部秀樹君(9相当) 君 (9回)、2019

の2025年度Excellent

teacherとして表彰され

この制度は、

同学会

現施設で地域医療に従事

)、2020年から

会活動も行っている。

 $\Rightarrow$ 

同教室で活躍されて

授を含め現在も 諸先輩や中原教

大学小児外科・移植

払どもの教室から初

今回の受賞は、 ってきました 含めて活動を行 て専門医育成を

教授・71回)が、同学会

科教室で主として片頭痛

病態に関する基礎研究に

川総合病院神経内

術集会にて奨励賞受賞第98回日本超音波医学

本超音波医学会学

名ず

Congress of World

一の参加者がおり、

、超音波

では世界各国から数多く

in Medicine and Biology

同時に行われた

演題は「装着型マルチ

人科の各臨床領域から1

腹部(消化器)・産婦

淳君(92回)

礎領域から2名、循環器

ことは非常に勇気づけら

Federation for Ultrasound

の幅広さと懐の深さを感

じるものであった。

存です」

(内科学 (神経)

中原

仁

胆膵·移植外科領域

82 教 回 室

れるものであった。

に国立京都国際

会館にて開催された第98

塾

医

て研究会が主催する「2

to estimate the tear film

[Artificial intelligence

清水君は

| 君 (11回)、2021年

柴田

いるものである。

、慶應義塾大学神経内るものである。同君

学会学術大会におい 催された第66

学

眼科学教室の清水映輔

部

新

年、該当する的として、毎

多数の研究者が表彰され

近年では202

眼科学教室からは代々

**2 0** 

25年度日本神

経学

会

ってきました や臨床研究を行

同君のコメン 「これまで片

が、頭痛学の普

及も重要と考え

2025年国際肝移植学会

門)を受賞

泰造君(外77回

Excellent teacher 表彰

することを目 上発展に寄与

研究者に送ら

れるものであ

2022年の佐藤真理君 3年の楊帆君(留学生)、

日に大阪国際会議場で開

回日本神経

献した会員を対象に20

13年から毎年表彰して

作成など、教育活動に貢

の講師や教育用動画の

(92相当)、

羽入田明子

聞

### 玉井 学会奨励賞 2025年度日本リ 博也君(内 受賞 91回

· ウマ

025年4月 学会総会(2 日本リウマチ 第69

された。本賞は本邦にお 臨床的または基礎的研究 ウマチ学に関する において表彰 · 福岡)

也君が2025年度の日 清水 膠原病内科)の玉井博 内科学教室(リウマチ **2 0** 24年ドライ 君 眼 92 回 を用いて推定するモデー時間を人工知能(AI) 受賞に至った。2024 開発の論文が評価され、

-チアワー

ドを受賞!!

月に京都で開催され

アイ研究の

学会」において、 た「第78回日本臨床眼科

受賞講

柴田

君(71

回

### J\*\*\*こ又り且い一方、大破骨細胞やサイトカイン った40歳未満の若手研究の発展に顕著な貢献のあ の振興並びにリウマチ学 規模な多施設国際共同臨 者を顕彰するものであ 、関節リウマチにおける ・井君は基礎研究とし 藤村 poster competition 優勝 2025 Vascular Annual Meeting UV International

チ ある。 手研究者として活躍中で 今後のさらなる世界的活 ウマチ学会において2年 床試験を遂行 本受賞を励みに、 日本を代表する若 ラル発表する し、欧州

躍を期待される。 (内科学(リウマチ・膠



ステントグラフト

(EVAR) と953例

同で作成している台帳を

ショッ

R

2 5 国

Awardをト

84例の90歳代の

ズで開催された、 7日に米国ニュー 2 0 2

いて推定するモデル

| poster competitionでは名 つであるinternational そのセッションの一

界では最も権威の 者に興味を持たれ、 全生存率に差がないこと 座長を含め、多くの参加日本ならではの演題で、 高齢化社会を迎えて などを報告しました。超

出され、発表を競いま 国から提出されたポスタ から30名ほどが選

直樹君(外82回

LO Vascular repair for nonagenarians endovascular aneurysm analysis of elective 藤村君は「Detailed

浩

君(内

98

音君(内)

Annual Meeting

term results with shows comparable midin Japanese population

る活躍を期待 藤村君の今後のさらな

秀演題賞に選出されまし しておりま す。

一生方の日頃のご協力に心 らびに慶應関連施設 びに慶應関連施設の先して北川雄光教授、ない。また、この場をお借 して北川雄光教授、

より感謝を申し上 (尾原秀明 外 72

回

げま

pandemic

学会最優秀論文賞を受賞

omicron diseasesin rheumatic

健裕君(放82相当)

チ・膠原病患者

においてコロナ

演題 gical ated 一示唆され 度の予測できる可能性がス腎炎の組織所見、重症 ず、尿検査のみでループ侵襲的な腎生検を行わ 告した。本研究により、

いては、

ワクチンの反復

クが特に高いことを報告

で With a distance of the Harmonian With a distance of the Harmo

在も重症化リス

いる例では、現両方が減弱して

接種しても液性 ワクチンを3回

・細胞性免疫の

免疫抑制患者にお

接種や抗ウイルス薬の真

プロテオミクス解析 を反 近

B (S100A9 nephritis」 という findingsinlu を探索し、calgranulin

寛解した例と比較

reflecting histolog biomarkers associ

賞である。

ク

Rの特徴と、3年までは

音君 (92回)、

(88回) の3名が国際ワ

学術集会において、

**素会において、鈴木**リウマチ学会総会・

リプル受賞 査により、最大30名のた演題の中から厳正な の優秀演題に送られる クショップ

|セッションである国際ワ た。本賞は、本会の英語 -クショップExcellent 近藤泰君 平本和 ofarandomized cytokine levels in adult Still's disease: an explanatory subanalysis tocilizumab」という演題 鈴木浩司君は、「Serum

Abstract Awardを受賞

プExcellent Abstract 泰君(内8回 92 回 際ワ

成人Still病に対して

の不十分例におい は

平本和音君は「Urinary

with pathogenic pathways

120

ない

八木

文子君(放94回)

本賞の受賞をきっかけ

膠

最優秀賞を受賞総会フィルムリーディング第4回日本医学放射線学会

する必要があるかもしれ に適正な投与期間も検討

使用されるトシリズマブ | 5が抽出されたこと

NY経路が活性化していること報告した。本研究により、成人Still病の治療前後のサイトカイン測療が、今後の個別化医療にあること報告した。本研究に有用である可能性が示いること報告した。本研究

and critical outcome of associated with severe immunogenicity after CoV-2 vaccines is third booster of SARS-COVID-19 in patients [ Attenuation of 籐 泰 君 は

を報 | with autoim mune | 原病) 金子祐子

て、3人の研究が更に発原病領域の克服に向け 展することを期待した 今後もリウマチ・

(内科学(リウマチ・膠 76 回





もに高いレベルが求めら ので、出題者・解答者と

も同様の企画で複数回受 賞歴があり、このような

践している。これまでに

学会における名物イ

参

が、受賞につながってい日々の実践の積み重ね

出す。読影力。を競うも 像から正確な診断を導き

## なる謝意を表する。 (北川雄光 外65回)

# 諸先生方のご指導に深甚に期待する。塾医学部の



限界に挑んできた世界的患者と共に治癒可能性の

## 人君(放95回)

総会でYoung Investigator 第8回日本医学放射線科学会 Awards 田 l st prizeを受賞

R (95回)が、「Young を 君 (95回)が、「Young を 記した。同 総会において、 回日本医学放射線科学会 コ横浜で開催された第8 織人 究である。 て、健常人の肺動・静脈と従来の臥位CTを用い なって開発した立位CT 初めて解析した基盤的研 容積の体位変化を世界で

これまで肺血流は、臥 期待される。 確立や病態生理のよ い理解に貢献することが 山田祥岳

(放射線科 (診断) 81 回



積は変化がな 脈容積は立位で 増加すると考え 野の静脈容積は すると、動脈容 位と立位を比較 は減少し、下肺 上肺野の静

の比較など、立位CTを 換えるような知見と思わ とが解明された。これま も その減少率が下肺野より での生理学の常識を書き 今後はさらに疾患群で いた新たな診断指標の 肺野の方が大きいこ ベントの一つである。

上

学君(産婦86

回

康科学研究賞を受賞学術講演会でロート女性健第77回日本産科婦人科学会



科の池ノ上学君が、ロー の おいて、産婦人 は本産科婦人科学会学術 さ が、 で開催された が 2025年5月3日~ う D ドロ of Health and Disease) 人期のメタボリックシン (Developmental Origins ムに関連するとい О ことを目的と が小児期・成 研究者を表彰 するもので 功績のあった 上に寄与する して、顕著な 子宮内環境 a D

体脂肪量や肥満との関連の体脂肪量と、小児期の の体脂肪量と、 す。これまでに新生児期 科 性があり、今後さらなる一次予防へと繋がる可能 研究の発展が期待されま ボリックシンドロ (産婦人科学教室 (産 教授

守

## | (2014年) が受賞し、4 | (2014年) が受賞し、4 | SARS-CoV-2 ワクチン接 | 学放射続学系制を開発者 | Patients です。 2024年度の日本医 | SARS-CoV-2-vaccinated 2024年度日本医学放射線 9

こともあり、オ

ンライン掲載後

で、年間閲覧数 わずか2か月

の過去最高を獲

ることを明らか

した。世間の

ワクチンへの

心が高まってい

Uptake at PET/CT in で我々は、ワクチン接種 おり、半年後に正常に戻 "Assessment of れるが、心筋炎において 候者であっても接種後し がyocardial 18F-FDG は心筋に集積する。そこ ばらくは集積が上昇して 候者であっても接種後し は 載 さ れ た 主に腫瘍の評価に用いら てみた。その結果、無症 DG集積の程度を解析し 君の今後のさらなる活躍 に期待したい 込みも多数頂い (放射線科(診断)教授 変質いた。中原からの取材申し 得し、 マスコミ

後の無症候者の

陣崎雅弘

ると改めて感じている。 子育てと両立しな 激になっている 八木君の今後のさらな

たちにとっても大きな刺 長 巷岡祐子 86回)がら学術的な研鑽を続け る活躍に期待したい。

医局

## 田 桐子君(6年)

医師で、

単に

手から中堅の 加者は主に若

疾患を当てる

だけでなく、

細かな画像所

見を正確に拾

6月7日

い上げ、

臨床

Young Investigator Award受賞第7回日本結合組織学会で

合組織学会に 田桐子君 (6年) の演題 で開催された 紺コンベンシ ョンセンター 日に大阪大学 て、形成外科 "マウス胎仔期の肌理形 回日本結 hDコースの種 | Council、12月に行われ 会に続く受賞となった。 是影技 Mar my m

分裂とKeratin17の関係。 成における表皮角化細胞 日本結合組織学会は、

げ、最優秀賞を受賞した。解という快挙を成し遂

も一貫して丁寧な読影を

M

細かな所見を見

このセッションは、画

据えたレポート作成を実逃さず、治療方針まで見

グにおいて、当科の八木

君は、日常診療においてを答える力など、複合的

文子君(94回)が全問正

会のフ

回日本医学放射線学会総 コ横浜で開催された第8

分類に基づく正し

い病名

第 57

力、さらには最新の疾患

経過と照らし

展に大きく寄与して

Awardを受賞した。昨年 がYoung Investigator Surgery Research International Plastic 脂肪量から新生児体脂肪 が報告されてきました。 10月に行われた1st 上君はさらに、胎児 歴史ある学会で、基礎か 研究者が参加する学会で ら臨床まで幅広い分野の 日本の結合組織研究の発 マウスでの肌理の解析、 Keratin17ノックアウ た第5回日本創傷治癒学 数も多く、その中で、 YIAのエント

ることを見出し、肥満の や、母体のインスリン抵量を予測可能であること どが胎児脂肪量と関連す らに250HビタミンDな ディポサイトカイン、さ抗性、レプチンなどのア microarrayによるシグナ 選択した種田君は、 れ受賞となった。3年生 示したことが高く評価さ が関与することを詳細に 形成過程にKeratin17

にしました。今回の一連まで遡る可能性を明らか 児の長期予後に影響を与 起原はその一部が胎児期 える病態の解明や、メタ の研究は、子宮内環境が  $\beta$ 部、関係各位に感謝しまして下さった医学部執行 D-PhDコースを導入 かしく思うとともに、M 究を続けて成果を出して ップの合間に自発的に研いクリニカルクラークシ 学習終了 コースに編入して研究を いる。種田君の将来を輝 巨主学習で形成外科を 今回現在も忙し 後 M D-

(形成外科

貴志和生